


<プロフィール>

<p>氏名： 諏訪 康雄（すわ・やすお）</p> <p>現職： 法政大学大学院 政策創造研究科 教授</p>	
<p>1947年東京生まれ。1970年、一橋大学法学部卒業。ボローニャ大学留学を経て、1977年、東京大学大学院法学政治学研究科博士課程を単位取得、満期退学。その後、法政大学社会学部専任講師、同助教授、ニュー・サウス・ウェールズ大学客員研究員、ボローニャ大学法学部客員教授、法政大学社会学部教授、法政大学大学院政策科学研究科教授、トレント大学法学部客員教授などを歴任後、2008年より現職。</p>	
<p>著書：</p> <p>'08 『法律学小辞典（第4版増補版）』（有斐閣・共編著）</p> <p>'00 『労使コミュニケーションと法』（日本労使関係研究協会・単著）</p> <p>'99 『雇用と法』（放送大学教育振興会・単著）</p> <p>'97 『Il diritto dei disoccupati』（Giuffre' Milano・共編著）</p> <p>'96 『労働市場の変化と労働法の課題』（日本労働研究機構・分担執筆）</p> <p>'94 『判例で学ぶ雇用関係の法理』（総合労働研究所・共著）</p> <p>'93 『日本の雇用慣行の変化と法』（法政大学出版会・分担執筆）</p> <p>'92 『労使紛争と法』（日本労使関係研究協会・単著）</p> <p>'92 『外資系企業の人事管理』（日本労働研究機構・分担執筆） など</p> <p>～論文～</p> <p>'04 「キャリア権をどう育てていくか？」『季刊労働法』207号</p> <p>'02 「エンプロイアビリティは何を意味するのか？」『季刊労働法』199号</p> <p>'99 「キャリア権の構想をめぐる一試論」『日本労働研究雑誌』468号 など</p>	